



8610-0073

- 低濃度硫化物を検出できます。
- 多成分ガスに加えて硫化物も分析できます。
- 1個のガスサンプリングバルブと3本のカラムを使用します。
- エアーコンプレッサー内蔵

不活性化処理(Silicosteel)試料ループ
の外観写真

天然ガス分析を BTU GC で行う多数の分析者が、硫化物も測定対象にしています。50ppm 以下の低濃度硫化物の測定は難しいので、姉妹機の多成分ガス分析システムを低濃度の硫化物を同時にモニターできるように強化しました。必要な追加機器は、2桁 ppb レベルまで選択的に検出できる FPD/FID 検出器と不活性化処理 (Silicosteel) された試料ループだけです。硫化物測定が難しいのは、例え瞬間的にでも加熱されたステンレス管に接触すると、破壊されて消失しまうからです。この解決策として、スプリッターへの配管に不活性化処理管を、カラムは 60m の厚膜キャピラリーカラムを使用します。硫化物分析には、しばしばテフロンカラムが使用されますが、天然ガス分析は 250 以上の昇温が必要です。硫化物分析用カラムはカラムオープンの中に装着されていますので、高温にも耐える 60m キャピラリーカラムの使用が必要不可欠です。